

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	情報基礎
科目基礎情報						
科目番号	41125			科目区分	専門 / 選択	
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	環境都市工学科			対象学年	1	
開設期	前期			週時間数	2	
教科書/教材	特に指定しない／プリント配布					
担当教員	佐藤 雄哉					
到達目標						
(ア)電子メールの基礎的な仕組みを理解し、メールの読み書きができる。 (イ)ネットワーク社会でのセキュリティや著作権、エチケット、ネットワーク社会の脅威について理解している。 (ウ)情報倫理の大枠について理解し、コンピュータの利用には様々な脅威があり、その対策を説明できる。 (エ)ワープロソフトを使用して文章の作成ができる。 (オ)表計算ソフトを使用して基本的な表、数式・関数、グラフの作成ができる。 (カ)プレゼンテーションソフトを使用して資料を作成できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安			最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安	
評価項目(ア)	ネットワーク、電子メールの基本的な仕組みを理解しており、第三者に対して説明ができる。			ネットワーク、電子メールの基本的な仕組みを理解している。	ネットワーク、電子メールの基本的な仕組みを理解できていない。	
評価項目(イ)	ネットワーク社会でのセキュリティや著作権、エチケット、脅威について理解し、第三者に説明できる。			ネットワーク社会でのセキュリティや著作権、エチケット、脅威について理解している。	ネットワーク社会でのセキュリティや著作権、エチケット、脅威について理解できていない。	
評価項目(ウ)	ワープロソフトを使用時の応用的な文章の作成や表計算ソフトを使用時の応用的な表、数式・関数、グラフの作成、プレゼンテーションソフトを使用時の応用的な資料作成ができる。			ワープロソフトを使用時の文章の作成や表計算ソフトを使用時の基本的な表、数式・関数、グラフの作成、プレゼンテーションソフトを使用時の資料作成ができる。	ワープロソフトを使用時の文章の作成や表計算ソフトを使用時の基本的な表、数式・関数、グラフの作成、プレゼンテーションソフトを使用時の資料作成ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 B1 数学・自然科学・情報技術の基礎を身につける 本校教育目標 ② 基礎学力 本校教育目標 ④ コミュニケーション能力						
教育方法等						
概要	現代社会においては、日常生活にさえコンピュータが深く浸透してきており、工学エンジニアを目指す者として、そのスキルを身に付けることは必須課題となっている。本講義では、実際にコンピュータを使用し、必須スキルといえるコンピュータを活用するための基本的な知識と技術を身につける。					
授業の進め方・方法	本講義は、コンピュータを活用するための基本的な知識と技術の習得を目的として、パソコンの基本構造を理解するとともに、ネットワークエチケットや情報セキュリティを学ぶ。次に、パソコンを用いて文字入力ソフト、表計算ソフト及びプレゼンテーションソフトの基礎的な使用方法を学ぶ。具体的には、ワープロソフトでは、文字入力、一般的な書類の作成、作図の学習であり、続いて、表計算ソフトでは、表や数式・関数の作成およびグラフの作成技術を習得する。最後に、プレゼンテーションソフトを用いて、プレゼンテーションスライドの作成を学ぶと共に、各自で作成する。					
注意点	電子メールの確認環境として、学生個人の持つスマートフォンを推奨しており、その設定方法も内容に含まれるが、家庭による環境（機能制限、不所持等）や機種、従来からの利用状況による差が大きいため、授業内で完了しない事も想定されている。					
選択必修の種別・旧カリ科目名						
旧カリ科目名：情報処理Ⅰ						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
必履修						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	情報リテラシー／モラル、ICTSEC演習室の使い方		情報リテラシーおよびパーソナルコンピュータの使用方法について理解できている。	
		2週	SNSの注意点、電子メールの書き方		SNSの利用方法および電子メールの書き方を習得している。	
		3週	ネットワークの基礎、情報セキュリティ		情報セキュリティの基礎について理解できる。	
		4週	情報化社会の功罪の「罪」の方、情報モラルテストと宣誓書		情報化社会における情報モラルについて理解できている。	
		5週	コンピュータの基礎知識：パーソナルコンピュータの基本構成、演算のしくみ		パーソナルコンピュータの基本構成と演算のしくみを説明できる。	
		6週	ネットワークの基礎：インターネット、LAN		ネットワークの構造を理解できている。	
		7週	タッチタイプ習得		タッチタイプが実践できている。	
		8週	ワープロソフトの基本操作：文字入力、ファイル操作		ワープロソフトの基本操作を習得している。	
	2ndQ	9週	ワープロソフトの基本操作：文字入力、ファイル操作		ワープロソフトの基本操作を習得している。	
		10週	ワープロソフトの応用操作：図表の挿入、文章作成		ワープロソフトの応用操作を習得している。	
		11週	表計算ソフトの基本操作：表作成、数式・関数の使い方		表計算ソフトの応用操作を習得している。	
		12週	表計算ソフトの応用操作：データ集計、グラフ作成		表計算ソフトの応用操作を習得している。	
		13週	プレゼンテーションソフトの基本操作：プレゼンテーション資料の作成		プレゼンテーションソフトの基本操作を習得している。	

		14週	プレゼンテーションソフトの基本操作：プレゼンテーション資料の作成	プレゼンテーションソフトの基本操作を習得している。
		15週	プレゼンテーションソフトで作成した資料を用いたプレゼンテーション（課題発表）	プレゼンテーションソフトを用いて作成した資料を使用して実際にプレゼンテーションできる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3	前1,前2
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	3	前1,前2
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	3	前1,前2
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	3	前1,前2
				情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	3	前1,前2
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	3	前1,前2
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	3	前1,前2
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	3	前1,前2

評価割合

	課題	実技試験	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	60	40	100